

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3141924号
(U3141924)

(45) 発行日 平成20年5月29日 (2008. 5. 29)

(24) 登録日 平成20年5月7日 (2008. 5. 7)

(51) Int. Cl.

F 1

A 6 1 F 2/52 (2006. 01)

A 4 1 C 3/14 (2006. 01)

A 4 1 C 3/00 (2006. 01)

A 6 1 F 2/52

A 4 1 C 3/14 A

A 4 1 C 3/00 B

評価書の請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 実願2007-9546 (U2007-9546)

(22) 出願日 平成19年12月12日 (2007. 12. 12)

(73) 実用新案権者 307040668
高瀬 美知子
栃木県宇都宮市新町 2-2-24

(72) 考案者 高瀬 美知子
栃木県宇都宮市新町 2-2-24

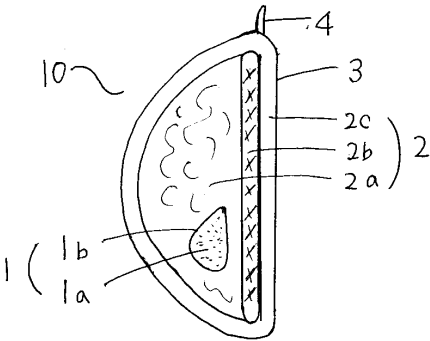
(54) 【考案の名称】 義乳房パッド

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 乳癌で乳房の全摘出手術をした女性が、肩こりやずり上がり、蒸れ等を起こすことなく、快適に着用できる、肌触りの良い義乳房パッドを提供する。

【解決手段】 義乳房パッド10は、通気性と適度な重さを有する材料からなる核層と、その核層を覆い、衣料材料からなる中間層と、その中間層を全て包み、衣料生地からなる外層の構造である。義乳房パッド10は、適度な重さと弾力や通気性、吸汗性を有する肌触りの良い衣料材料から構成されているため、被着者は、肩こりやずり上がり、蒸れ等を起こすことなく、快適に着用することができる。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

ブラジャーの内側のカップ部に挿入される義乳房パッドであり、通気性と適度な重みを有する材料からなる核層と、その核層を包み、衣料用材料からなる中間層と、その中間層を全て包み、衣料用生地からなる外層の構造とする。形状は、肌に接する面は平面のまんじゅう形等とし、且つ被着者が複数種から選択可能な形、大きさ、重さであり、左右関係なく着用することができることを特徴とする義乳房パッド。

【請求項 2】

前記核層は、通気性を有する衣料用生地の袋に入った、ビーズからなり、前記中間は、弾力性、通気性を有する衣料用材料からなり、前記外層は、肌触りがよく、通気性、吸汗性を有する衣料用生地からなる。ことを特徴とする義乳房パッド。

10

【請求項 3】

前記義乳房パッドの一部にループ状の布タグを備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の義乳房パッド。

【請求項 4】

前記義乳房パッドの挿脱が自在であって、ウレタン樹脂パッドの内側の縁に安定保持及び脱落防止のための布部を備えたことを特徴とするパッド。

【請求項 5】

請求項 1 ないし 2 の義乳房パッドにおいて、その核層が、変性ポリウレタンジェルに変えたことを特徴とする義乳房パッド。

20

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、乳癌で乳房の切除をした人が、快適且つ手軽に着用できる義乳房パッドに関するものである。

【背景技術】

【0002】

乳癌により、乳房の切除をした女性、特に全摘出手術をした女性は、女性の象徴である乳房を失ったことでの精神的な苦痛や、左右の乳房の有無により、体のバランスが崩れ、姿勢を悪くしたり、肩こり等の肉体的な苦痛がある。

30

【0003】

このような背景により、乳房を切除した女性は、体のバランスを保つため、また、外見上、乳房の切除をしたことが分からなくするために、義乳房パッドを着用している。従来、全摘出手術をした女性は、乳房の形をしたシリコンゴム等からなる義乳房を着用している。シリコンゴム等で形成された義乳房は、重みによる肩こりや、吸汗性や通気性が無いための蒸れ等の問題がある。シリコンパッド着用の際に使用する吸汗パッドが提案されたりしている。（例えば 特許文献 1 参照）

【0004】

また、シリコンパッドは高価なため経済的負担もあり、被着者は、綿やストッキングを詰めてオリジナルのパッドを作製したり、肌触りや通気性、吸汗性、重み等を考慮しながら素材の違うパッドを数種組み合わせたりして、義乳房パッドを着用している。乳房を全摘出した女性は、上記のような問題を持ちつつ、義乳房パッドを使用している。

40

【0005】

【特許文献 1】特開 2004-329563 号公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0006】

従来のシリコンからなる義乳房パッドは、高価な上に、通気性や吸汗性が無いために、蒸れたり、重過ぎるために肩こり等を起こすものが多かった。また、ポリウレタンフォーム等からなるパッドは、軽量すぎるため、乳房の全摘出した人には、ブラジャーと共にず

50

り上がりが生じ、且つ肌触りも悪く不快感があった。

本考案は、これらの欠点を解決し、肩こりやずり上がり、及び蒸れ等の肉体的苦痛を伴うことなく、快適な着用感が得られると共に、容易に着用できる義乳房パッドを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記課題を解決するため、請求項1に記載された本考案は、ブラジャーの内側のカップ部に挿入される義乳房パッドであって、通気性と適度な重みを有する材料からなる核層と、その核層を包み、衣料用材料からなる中間層と、その中間層を全て包み衣料用生地からなる外層の構造である。形状は、肌に接する面は平面のまんじゅう形等とし、且つ被着者が複数種から選択可能な形、大きさ、重さの義乳房パッドであり、左右関係なく着用することができることを特徴とする。

10

【0008】

そして、請求項2に記載された本考案は、請求項1の義乳房パッドであって、その核層は、通気性を有する衣料用生地の袋に入った、2～3mm前後の粒径を有する球状のビーズからなり、そのビーズ重量は、30～60g前後である。前記中間層は、弾力性、通気性を有する衣料用材料からなり、まんじゅう形に形成したものである。前記外層は、肌触りがよく、通気性、吸汗性を有する衣料用生地からなる。ことを特徴とする。

【0009】

請求項3に記載された本考案は、請求項1のまんじゅう形をした義乳房パッドであって、前記外層の縫い合わせの一部にループ状の肌触りのよい布タグを備えたことを特徴とする。

20

【0010】

請求項4に記載された本考案は、請求項1～3及び請求項5の義乳房パッドの挿脱が自在であって、ウレタン樹脂パッドの内側の縁に安定保持及び脱落防止のための伸縮性、通気性、吸汗性を有する衣料用材料からなる布を備えたことを特徴とする。

【0011】

請求項5に記載された本考案は、請求項1～2の義乳房パッドであって、核層を30～60g前後の重さを有する変性ポリウレタンジェルに変えたものであり、その形状は、片面がなだらかな丘形で、もう片面が平面のレモン型、三日月型、ハート型等であることを特徴とする。

30

【考案の効果】

【0012】

本考案の義乳房パッドは、上記したように構成されているため、重みによる肩こりや軽量過ぎるためのずり上がりを起こすこと無く、且つ上記の衣料用材料であるので、蒸れや肌に接する面の違和感等も起こすこと無く、被着者は、義乳房パッドを快適に着用することができる。また、家庭での洗濯が可能な上、ループ状の布タグを備えたことにより、その布タグを挟んで干すことができるため、パッド本体には挟み跡が残らず、型崩れを防ぐことができる、と共に常に清潔に保つことができる。また、本義乳房パッドは、核層の材質や量的な変化だけで、複数種のパッドの製作が容易であり、しかも金型を必要とせず、衣料用材料からなる構成であるため、経済的でもある。

40

【0013】

さらに、従来のウレタン樹脂パッドの内側の縁に肌触りの良い布を縫い付けただけの簡単な加工により、ウレタン樹脂パッドの裏面側には、ポケット部（空間部）が得られ、そのポケット部に、本義乳房パッドを挿入することにより、本義乳房パッドは、安定保持及び脱落防止が得られる。と共に容易に挿脱ができる。また、従来のウレタン樹脂パッドの保形性もあり、左右のバスのバランスがより整えられ、外見上、乳房の切除をしたことが分からなくすることができる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0014】

50

以下、本考案の義乳房パッドを実施するための最良の形態について、図１～図４に基づいて詳細に説明する。

なお、各図に共通の部分は、同じ符号を使用している。

【実施例１】

【００１５】

図１及び図２は、第１実施形態に係る義乳房パッドの構成を示す。

図１は、断面図、また、図２（イ）は、正面図、図２（ロ）は、側面図である。

図１に示すように、本考案に係る義乳房パッド１０は、適度な重みと通気性を有するビーズからなる核層１と、その核層１を覆い、弾力且つ膨らみを持たせるための衣料材料からなる中間層２と、その中間層２を全て包む衣料生地からなる外層３の構造である。

核層１は、粒径が２～３ｍｍ前後の球状のビーズ１ａからなり、通気性を有する綿等の衣料用生地１ｂの袋に、動きが自在になるよう入れてある。前記ビーズ１ａの総粒重量は、３０～６０ｇ前後であり、義乳房パッド１０の核心となる。

中間層２は、通気性、弾力性を有する化繊綿、厚手キルト生地、薄手キルト綿の衣料用材料からなる。化繊綿２ａは、ビーズ１ａからなる核層１を包むと共に、まんじゅう形の山形部を形成し、厚手キルト生地２ｂは、まんじゅう形の底部（平面部）を形成する。

薄手キルト綿２ｃは、まんじゅう形を形成した化繊綿２ａ、厚手キルト生地２ｂをすべて覆い、さらに弾力のあるまんじゅう形が形成される。義乳房パッド１０の中間層となる。

外層３は、通気性、吸汗性を有する肌触りのよい綿等の衣料用生地からなり、まんじゅう形に形成された中間層２を、大きさの違う２枚の布で包み縫い合わせる。義乳房パッド１０の外層となる。

タグ部４は、長さ約１０ミリ、幅約５ミリ程の肌触りの良い衣料用生地からなり、義乳房パッド１０の外層３の縫い合わせ目の一部にループ状に挟んで、縫い付けたものである。

義乳房パッド１０は、洗濯が可能であり、前記布タグ４を挟んで干せるので、パッドの本体には挟み跡が残らず、型崩れを防ぐことができる。

上記のように、義乳房パッド１０は、総パッド重量が３０～７０ｇ前後からなり、ビーズや弾力性、通気性、吸汗性を有する肌触りの良い衣料用材料から構成されているので、肩こりやずり上がり、及び蒸れ等の不快感を起こすことなく、被着者は義乳房パッド１０を快適に着用することができる。また、家庭での洗濯が可能な上、パッドの左右に関係なく使用できるので、経済的である。

【実施例２】

【００１６】

図３は、第２実施形態に係るウレタン樹脂パッド２０の斜め背面図を示す。

ウレタン樹脂パッド２０の内側（肌に接する側）の縁に、伸縮性、通気性、吸汗性を有する肌触りの良い綿等の衣料用生地２１ａを縫いつける。義乳房パッド１０の挿入口は空かしておく。ウレタン樹脂パッド２０と衣料用生地２１ａとの間の空間部（ポケット部）に、義乳房パッド１０を挿入する。ウレタン樹脂パッド２０の内側に布を縫い付けただけの簡単な加工により、本義乳房パッドは、安定保持及び脱落防止が得られると共に、ウレタン樹脂パッドの保形性もあり、左右のバストのバランスがより整えられ、外見上、乳房の切除をしたことが分からなくすることができる。

【００１７】

被着者は、ブラジャーの着用前、着用後どちらでもブラジャーの内面側のカップ部に、（義乳房パッド１０を挿入した）ウレタン樹脂パッド２０を、容易に挿入することができる。また、被着者が愛用しているブラジャーや内側にポケット部がないブラジャーであっても、着用ができ、且つ左右に関係なく着用できるので経済的である。

【実施例３】

【００１８】

図４は、第３実施形態に係る義乳房パッド１０のもう一つの核層の正面図である。

先の実施例１において、義乳房パッド１０の核層１が、ビーズ１ａでなく、３０～６０ｇ

前後の重さを有する変性ポリウレタングジェル 11 に変えたものであり、形状は、片面がなだらかな丘形で、もう片面が平面のレモン型、三日月型、ハート型等である。

核層 1 が変性ポリウレタングジェル 11 の義乳房パッド 10 は、柔らかな弾力を増し、手触り感が本物の乳房のようである。

【産業上の利用可能性】

【0019】

主として、乳癌で乳房の全摘出手術をした女性が、義乳房パッドを着用する際に生じる肩こり、ずれ上がり、蒸れ等による不快感を解決する義乳房パッドに関する。

【図面の簡単な説明】

【0020】

10

【図 1】実施例 1 の形態の義乳房パッドの断面図

【図 2】実施例 1 の形態の義乳房パッドの（イ）は正面図、（ロ）は側面図

【図 3】実施例 2 の形態のウレタン樹脂パッドの斜め背面図

【図 4】実施例 3 の形態の義乳房パッドの核層の（イ）は正面図、（ロ）は側面図

【符号の説明】

【0021】

1 核層

（1a 核層 ビーズ）

（1b 核層 衣料用生地）

2 中間層

（2a 中間層 化繊綿）

（2b 中間層 厚手キルト生地）

（2c 中間層 薄手キルト綿）

3 外層（衣料用生地）

4 布タグ（衣料用生地）

10 義乳房パッド

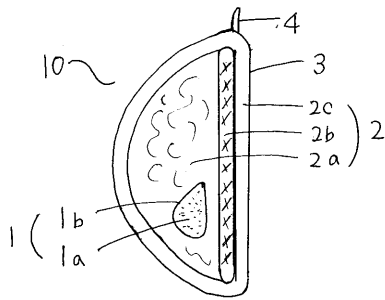
11 義乳房パッドのもう一つの核層（変性ポリウレタングジェル）

20 ウレタン樹脂パッド

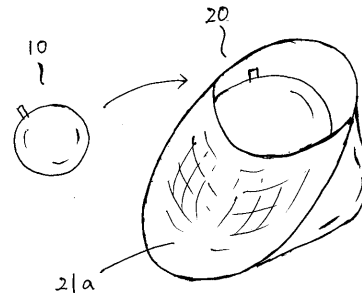
21a 衣料用生地

20

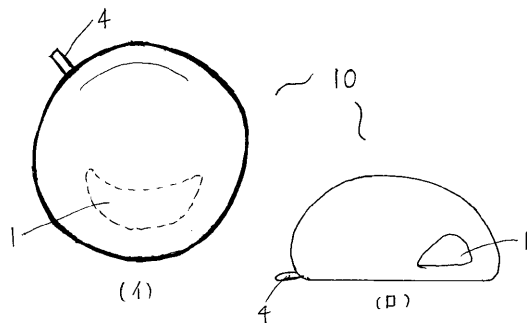
【図 1】



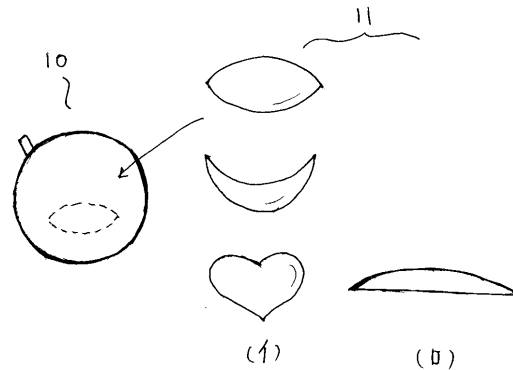
【図 3】



【図 2】



【図 4】



【手続補正書】

【提出日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

ブラジャーの内側のカップ部に挿入される義乳房パッドであり、通気性と適度な重みを有する材料からなる核層と、その核層を包み、衣料用材料からなる中間層と、その中間層を全て包み、衣料用生地からなる外層の構造とし、形状は、肌に接する面は平面のまんじゅう形等とし、且つ被着者が複数種から選択可能な形、大きさ、重さであり、左右関係なく着用することができることを特徴とする義乳房パッド。

【請求項 2】

核層は、通気性を有する衣料用生地の袋に入った、ビーズからなり、中間層は、弾力性、通気性を有する衣料用材料からなり、外層は、肌触りがよく、通気性、吸汗性を有する衣料用生地からなることを特徴とする請求項 1 に記載の義乳房パッド。

【請求項 3】

義乳房パッドの一部にループ状の布タグを備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の義乳房パッド。

【請求項 4】

請求項 1 または 2 に記載の義乳房パッドの挿脱が自在であって、ウレタン樹脂パッドの内側の縁に安定保持及び脱落防止のための布部を備えたことを特徴とするパッド。

【請求項 5】

請求項 1 または 2 記載の義乳房パッドにおいて、核層が、変性ポリウレタンジェルに変えたことを特徴とする義乳房パッド。